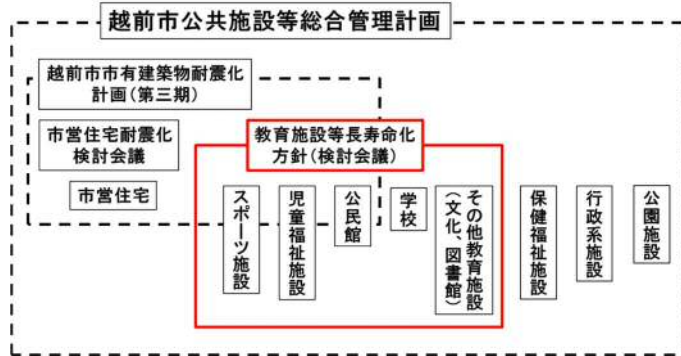


越前市教育施設等長寿命化方針【概要版】

【策定目的】

公民館、児童福祉施設、学校、スポーツ施設、文化施設等、未就学児から高齢者まで幅広い年齢層が使用する市民ニーズの高い教育施設等について、今後老朽化による維持改修更新費用の増大が予想されることから、必要な整備を計画的に実施するため「越前市公共施設等総合管理計画」を上位計画とした「教育施設等長寿命化方針」を策定します。

【位置付け】



- ・越前市公共施設等総合管理計画を上位計画とし、同計画基本方針に基づき策定します。
- ・耐震化が必要な施設は越前市市有建築物耐震化計画（第三期）と連携します。
- ・学識経験者及び施設関係者を委員とした「越前市教育施設等長寿命化検討会議」により、専門的かつ客観的な意見を聴取し、本方針を策定しています。

【方針期間】

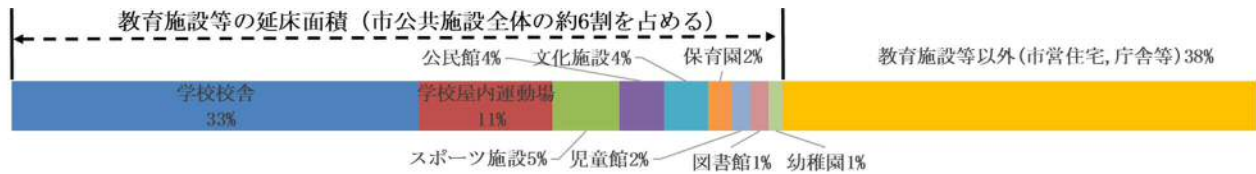
令和2年度から令和38年度までの37年間で、10年毎に見直しを行います。



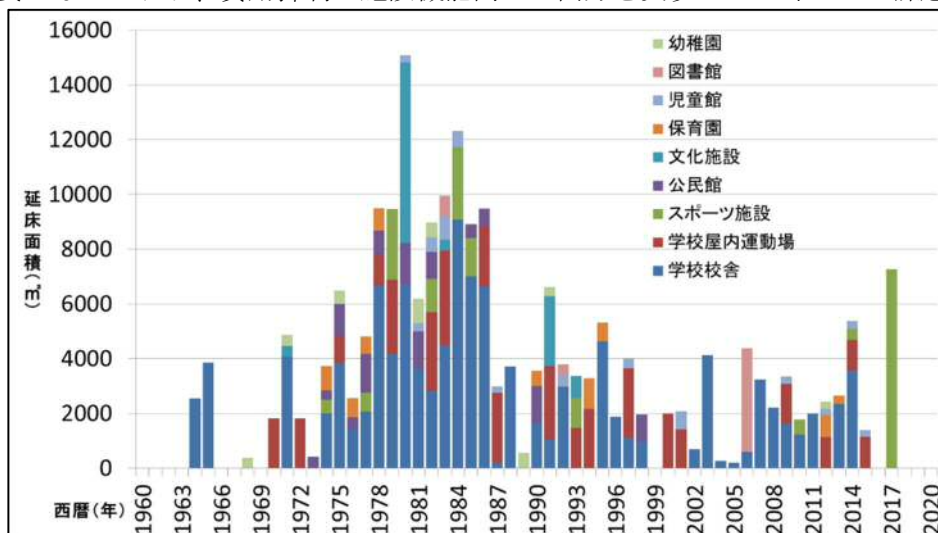
※第2期の策定は2年前から検討を始めます。

【現況と課題】

市公共施設全体延床面積：約34万㎡（上下水道施設を除く） 教育施設等延床面積：約21万㎡



教育施設等の築年は1970年代後半から1980年代に集中しており、これまで同様築60年前後で改築を行う場合、2030年代から2040年代に費用が集中することになり、財源を確保することが難しい状況になっています。また、省エネや耐震等、技術の進歩による社会的な要求水準の上昇等への対応も必要となっており、費用抑制と施設機能向上の両方を実現していくことが課題となっています。



【基本方針】

方針1 安全性の確保

日常的に多くの人々が利用し、かつ災害時の拠点施設にもなる教育施設等において、耐震性の無い施設については優先的に耐震化を進めることとし、併せて施設の老朽化の解消も図ります。

方針2 計画的な維持管理による長寿命化の推進

改修の節目となる20年前後毎に施設の劣化状況や財政状況、周辺施設の老朽化状況を総合的に鑑みて、計画的に施設改修又は改築を行い、躯体の寿命である築80年前後まで施設を長寿命化させ、費用平準化を図ります。

方針3 ユニバーサルデザインの推進

教育施設等の多くは避難場所にも指定されていることから、災害時にも安全性を確保でき、多様な人が障壁なく施設を利用できるよう、バリアフリー化を推進します。

方針4 環境に配慮した施設整備の推進

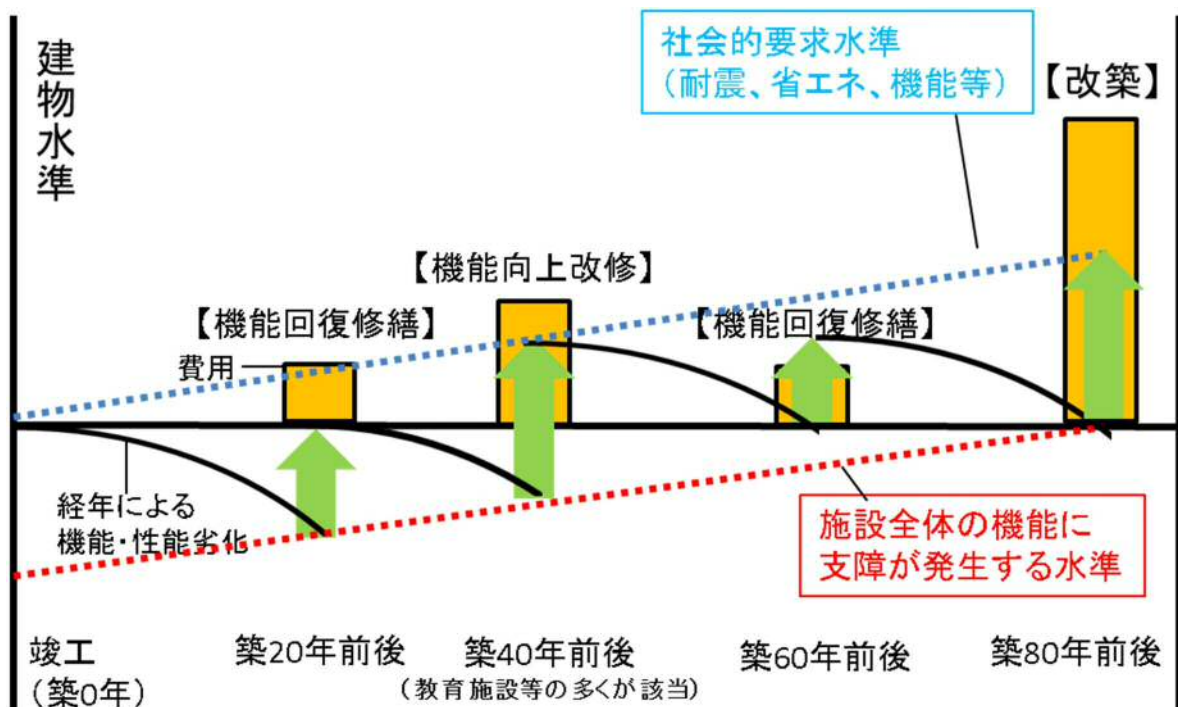
省エネ効果の高い空調設備やLED照明に更新していくことで、環境に配慮した施設へ整備していくとともに、ランニングコストの低減を図ります。

方針5 施設保有量適正化

改修又は改築を実施する際には、周辺施設との相互利用・複合化又は他施設との集約化により、延床面積の縮減を図りながらも、利用可能面積の確保及び地域コミュニティ活動の拠点化を進めます。

【整備方針】

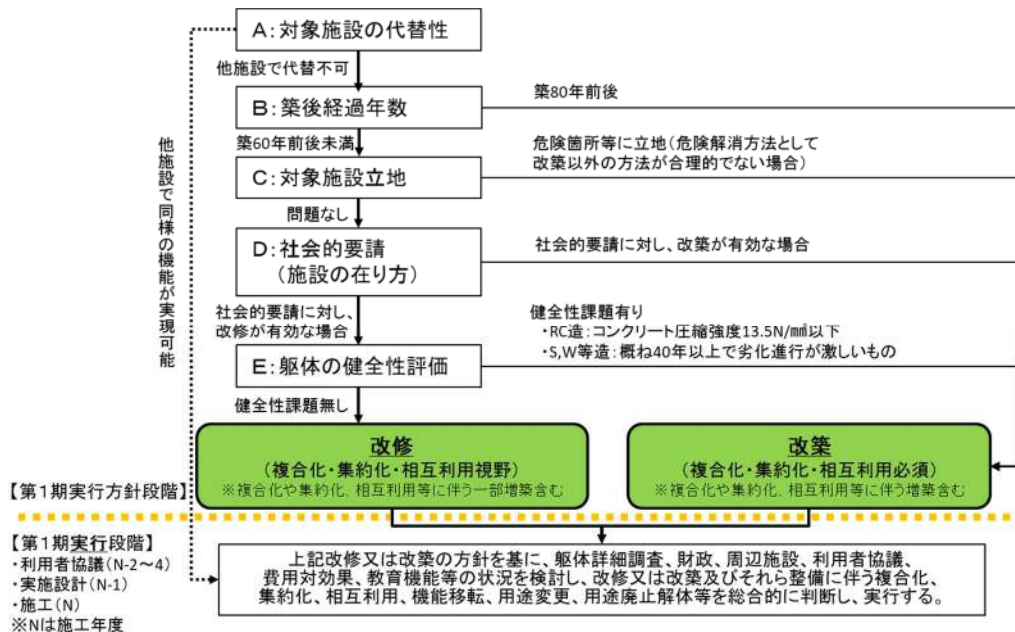
長寿命化に係る予防保全的な機能回復修繕及び機能向上改修を20年周期で行うことで劣化拡大を抑制し、施設を築80年前後まで使用できるよう長寿命化し、費用平準化を図ります。



機能回復修繕及び機能向上改修で改修対象とする部位は、主に屋根、外壁、空調、内装、電気設備、給排水設備です。また、バリアフリーについて、整備周期に関わらず必要に応じ適切に対応していくこととします。以下の表の○印は主たる部位の更新、△印は部分補修です。

対象部位	整備名称	機能回復修繕 築20年	機能向上改修 築40年	機能回復修繕 築60年	改築
屋根	 防水の改修	○	○	○	建替 一新
外壁	 外部仕上げ材の改修	△	○	△	
空調	 エアコンの改修	○	○	○	
内装 (床、壁、 天井)	 天井の改修	△	○ (主要部分)	△	
電気設備	 照明更新	△	○ (主要部分)	△	
給排水設備	 トイレ洋式化	△	○ (主要部分)	△	
その他 劣化部位		○	○	○	

長寿命化にあたっては、以下の整備方針フローによって検討していきます。



複合化とは・・・異なる種類である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。
 集約化とは・・・同種又は類似である複数の既存施設を、1つの施設に再整備すること。
 相互利用とは・・・複数の既存施設間において、時間帯を区分して相互に使用すること。

【費用推計】

全教育施設等の長寿命化費用は、年平均推計9億7千万円（地方債7億8千万円/年、一般財源1億9千万円/年を想定）です。この推計額は、平成25年度から30年度の教育施設等の投資額、財源額以下であり、財政との整合性を確認できています。

しかしながら、長期的には、人口減少や少子高齢化等による厳しい財政状況が予想されることから、継続して費用縮減に取り組みます。

【第1期（令和2年度から令和8年度まで）実行方針】

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。 ・学校以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 北日野小学校屋内運動場、武生南小学校屋内運動場、王子保小学校屋内運動場、武生西小学校屋内運動場、武生第一中学校本館

公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要な公民館は耐震化と合わせて機能向上改修を行い、耐震性の低い公民館から順に改修する。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。（但し、危険箇所等に立地している場合を除く。） ・公民館以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 【耐震化が必要な公民館→耐震化+機能向上改修】 南中山公民館、花筐公民館、神山公民館、武生南公民館、白山公民館、北新庄公民館、武生西公民館、吉野公民館、味真野公民館 【耐震化を要しない公民館→機能向上改修】 王子保公民館、坂口公民館、服間改善センター、北日野公民館、大虫公民館

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要な児童館は、耐震化と合わせて機能向上改修を行う。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。（但し、危険箇所等に立地している場合を除く。） ・児童館以外の施設との複合化や相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 【耐震化が必要な児童館→耐震化+機能向上改修】 南中山児童館、北日野児童センター 【耐震化を要しない児童館→機能向上改修】 花筐児童館、神山児童館、武生南児童センター

幼稚園・保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は、越前市子ども・子育て支援計画（第2期）に基づき、幼保一体化を推進する。 ・改修、改築の際に、複合化や集約化、相互利用を行うこととし、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 上太田保育園、なかよし保育園、武生西幼稚園、家久保育園、吉野幼稚園、王子保幼稚園、武生南幼稚園（休園）、味真野幼稚園（休園）

スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要なスポーツ施設は耐震化と合わせて機能向上改修を行う。 ・長寿命化整備方針検討フローに基づき、第1期に機能向上改修時期を迎える施設は「改修」方針とする。 ・越前市スポーツ施設再配置計画と整合性を図りながら、複合化や集約化、相互利用を視野に入れて改修し、それに伴う一部増築も含むこととする。
	対象 【耐震化が必要なスポーツ施設→耐震化+機能向上改修】 武道館

文化施設・図書館	・部位更新を主に実施する
対象	部位更新

- ・施設の部位について、劣化の進行が著しい、製品が生産中止となっている等、機能向上改修や機能回復修繕に先行して更新を行う必要があるものは、教育施設等全般において、第1期に早急に更新を実施します。（部位更新の例：屋上防水、外壁、水銀灯LED化、空調、その他備品や工作物等の整備）
- ・改修工事を行う前々年度には、施設利用者と協議し、相互理解や共通認識の形成を図ります。
- ・上記の実行方針は、主要改修施設のみ抜粋し記載しています。